

平成25年度使用学校教育法附則第9条の規定による教科用図書（見本）理由書一覧

1 図書名

No.	出版社	書名	該当教科	障がい種	学部・学年等	価格
1	ひさかたチャイルド	きせつとぎょうじのえほん	生活	知的障がい	小学部・4年	¥1,680
2	評論社	さわってあそぶ コロちゃんのうじょう	国語	肢体不自由	小学部・2年(特別学級)	¥1,470
3	ベネッセコーポレーション	わんにゃんぱおーん！ どうぶつなきごえずかん	国語	肢体不自由	中学部・1年(特別学級)	¥1,970
4	ベネッセコーポレーション	音とゲームでたのしくおぼえる！ おしゃべりことばずかん	外国語	視覚障がい	中学部・2年(特別学級)	¥1,970
5	成美堂出版	ちよろりとおでかけ とけいのえほん	算数	知的障がい	小学部・6年	¥1,260
6	学研教育出版	あそびのおうさまBOOK おうさまのたからばこ ふしぎなクレヨン	図画工作	知的障がい	小学部・1年	¥1,365
7	学研教育出版	あそびのおうさまずかん もののなまえずかん	国語	知的障がい	小学部・2年	¥819
8	福音館書店	ぞうくんのさんぽ	国語	知的障がい	小学部・1年	¥800
9	ほるぷ出版	手であそぼう まねっこおてんき	生活	聴覚障がい	小学部・3年(特別学級)	¥1,300
10	偕成社	子どものマナー図鑑① ふだんの生活のマナー	生活	聴覚障がい	小学部・6年(特別学級)	¥1,500
11	明治書院	寺子屋シリーズ⑦ 親子で楽しむ こどもお仕事塾	職業・家庭	病弱	中学部・1年(特別学級)	¥1,500
12	講談社	すてきなひらがな	国語	知的障がい	中学部・3年	¥1,800
13	合同出版	小林カツ代の食育のえほん いただきますごちそうさま	職業・家庭	知的障がい	中学部・3年	¥1,600
14	偕成社	10このちいさなおもちゃのあひる	算数	知的障がい	小学部・3年	¥1,890
15	東京書店	ヒュルヒュルドカーン おまつりたいこ！	音楽	視覚障がい	小学部・1年(特別学級)	¥2,079
16	世界文化社	ワンダーおはなし絵本 ポッキーのわくわくサンドイッチ	国語	肢体不自由	小学部・5年(特別学級)	¥1,050
17	ハッピーオウル社	12か月のうたのえほん	音楽	知的障がい	小学部・2年	¥1,575
18	小学館	きせつの行事りょうり キッズレシピ	職業・家庭	知的障がい	中学部・1年	¥1,260
19	学研教育出版	めくってはっけん！ せかいちずえほん	社会	病弱	中学部・1年(特別学級)	¥1,890
20	福音館書店	あそびのレシピ	図画工作	知的障がい	小学部・6年	¥1,680

2 一般図書選定の理由書（次頁）

## 一般図書選定の理由書

番号	1
----	---

学校名 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

図書名	きせつとぎょうじのえほん		発行者名	ひさかたチャイルド	
図書の内容	<p>本書は、入学式、七夕、お月見、クリスマス、お正月など、子ども達に身近な52項目の行事が、かわいいイラストと分かりやすい解説で日付順に紹介されている。4月の行事から始まる構成なので、新年度のスタートに合わせて読み始めることができ、年間を通して活用することができる。</p> <p>日本の文化や伝統に目を向けたり、四季の移り変わりを意識したりするきっかけ作りができるとともに、その由来が簡単に記載されているページもあるため、行事についての知識を深めることもできる図書である。</p>				
対象学年	小学部4年	障がい種別	知的障がい	該当教科	生活
選定の理由	児童生徒の実態	<p>知的発達が5歳程度のダウン症の児童である。二語文の簡単な会話で周囲とコミュニケーションをとることを楽しんでいる。日常生活では、一部介助を要するが、身辺処理を自分で行う習慣が身に付きつつある。</p> <p>学習面では、平仮名、片仮名を7割程度読み書きすることができ、簡単なプリント課題に取り組むことができる。学部で行う七夕会やクリスマス会などの行事にはとても興味をもっており、楽しんで参加している。</p> <p>本書を活用しながら一年間の各行事を時期に沿って学習することは、行事の背景となる季節の移り変わりや身近な自然に興味をもつとともに、日常生活に必要な生活習慣などを身に付けることにもつながると考える。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 知っている行事を発表し、その行事の時期や内容を確認し、本書のイラストを見て行事へのイメージを広げる。</p> <p>(2) 教師と一緒に本書を見ながら月ごとの大きな行事を調べて表にし、季節や自然との関連を意識する。</p> <p>(3) 年間を通して、各行事の学習時に行事の日付や関係する活動をイラストや単語、文章で確認し、事前学習や活動の準備に取り組む。</p> <p>(4) 本書に載っている「歯の衛生週間」などの日常生活に関連する行事を学校生活の各場面に結び付けながら取り上げ、生活習慣を身に付ける。</p>			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の( )は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
  - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
  - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

## 一般図書選定の理由書

番号	2
----	---

学校名 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

図書名	さわってあそぶ コロちゃんののうじょう		発行者名	評論社	
図書の内容	<p>本書は、鮮やかな色のかわいらしい絵とともに、触って楽しむ仕掛けが各ページに施されているのが特長である。</p> <p>農場を舞台に犬のコロちゃんがお手伝いをする話なので、牛、馬、豚などの身近な動物が次々に登場する。見開き2ページずつで構成されており、「モーッ」「ヒヒン」「ブーブー」などの鳴き声のあとに、平仮名と片仮名からなる簡単な一文が大きな字で書かれている。仕掛け部分にはビニールや毛、綿などの素材を使用しており、ざらざら、ふさふさ、もこもこなどの感触を楽しむことができるよう工夫されている。</p> <p>感触を確かめる段階から、色や物の名前、文字を覚える段階の子どもが楽しむことができる図書である。</p>				
対象学年	小学部2年(特別学級)	障がい種別	肢体不自由	該当教科	国語
選定の理由	児童生徒の実態	<p>肢体不自由と知的障がいを併せ有する、知的発達が2歳程度の児童である。日常生活においては車いすを使用して移動しており、排泄や着替えには全面的に介助を必要としている児童である。</p> <p>学習面では、物や動物の名前に興味をもちはじめしており、読み聞かせの時間には、絵本に出てくる鳴き声を模倣して発声したり、絵を指さして絵の名前を教師に確認したりするなどの様子が見られる。</p> <p>本書は、視覚と触覚の面から働きかけることができる図書であるため、触れることを通してより絵本の内容に興味をもち、動物や物の名前の理解を深めることにつながると思われる。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 本書を見ながら、登場する動物や物の名前を聞いたり、触れる仕掛けを見たりして、本に関心をもつ。</p> <p>(2) 各ページの触れる仕掛けに教師と一緒にじっくり触れ、「ふわふわ」「ぼこぼこ」などと教師が発する言葉とともに様々な素材の感触を楽しむ。</p> <p>(3) 触れる仕掛けが動物や物の一部になっていることを教師と一緒に確かめながら、読み聞かせを楽しむ。</p> <p>(4) 絵本に登場する動物たちの名前をひとつひとつ確認し、それぞれの動物の鳴き声を教師と一緒に模倣して楽しむ。</p>			

(記入上の注意)

- 対象学年の( )は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
  - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
  - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

## 一般図書選定の理由書

番号	3
----	---

学校名 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

図書名	わんにゃんぱおーん！ どうぶつなきごえずかん	発行者名	ベネッセコーポレーション		
図書の内容	<p>本書は、10種類の身近な動物（いぬ、ねこ、うし、ぶた、カナリア、あひる、ひつじ、さる、うま、ぞう）の鳴き声ボタン、曲「ピクニック」のメロディボタン、2種類の効果音ボタンがついた音の出る本である。鳴き声ボタンを押すと、音に合わせて4つの小さなライトが光り、視覚的にも子どもの興味を引く工夫がされている。ボタンの部分は凸凹がはっきりしており、軽いタッチで音を鳴らすことができる。本の部分には、各動物の大きな写真を中心とした簡単な動物の紹介がされている。</p> <p>本を読みながらページに合わせて音を鳴らしたり、メロディに合わせて鳴き声ボタンを押したりするなど、視覚・聴覚の両面から働きかけ、幅広く活用できると考える。</p>				
対象学年	中学部1年（特別学級）	障がい種別	肢体不自由	該当教科	国語
選定の理由	児童生徒の実態	<p>重度の肢体不自由と知的障がいを併せ有する、知的発達が6ヶ月の生徒である。両上下肢にまひがあるが、右手は動かすことができ、コミュニケーション機器のボタンを押すことができる。日常生活面は全面的に介助が必要である。</p> <p>音楽を聴くことに強く興味をもっており、聴き慣れた曲を聴くと笑顔を見せ、発声して喜ぶ場面が見られる。また、音楽が止まると発声で教師に催促する場面も見られる。</p> <p>本書は、本児が聴き慣れているメロディが流れるボタンがついているので、教師と簡単なやりとりをしながら、ボタンを押すと音が鳴るという関連性を結びつける指導につなげることができると考えられる。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 各ページの動物を指さしながら鳴き声ボタンを教師が押し、鳴った音を楽しむ。</p> <p>(2) 教師と一緒に各ボタンを押し、音に興味・関心をもつ。</p> <p>(3) メロディボタンにより「ピクニック」の曲を流しながら、鳴き声や効果音ボタンを押し、音の重なりを楽しむ。</p> <p>(4) 手の届く所へ本を提示することで、自分から手を伸ばしてボタンを押し、音を楽しむ。</p> <p>(5) 動物が出てくる他の絵本の読み聞かせの際にも、効果音として鳴き声ボタンを押して楽しむ。</p>			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の( )は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
  - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
  - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

## 一般図書選定の理由書

番号	4
----	---

学校名 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

図書名	音とゲームでたのしくおぼえる！ おしゃべりことばずかん		発行者名	ベネッセコーポレーション	
図書の内容	本書には動物、食べ物、乗り物、体の部位、あいさつ、色の名前など、身近な言葉が書かれたボタンが70個付いている。ボタン部分が盛り上がっているため、押しやすい作りとなっている。ボタンを押すとその物の名前が音声で聞くことができるほか、動物の鳴き声や乗り物の音も聞くことができる。日本語と英語の切り替えが可能で、日本語で聞いてから英語で、英語で聞いてから日本語で学習するといった使い方もできることから、日本語の名称と英語の名称を結びつけて覚えるのに適している。クイズやゲーム、手遊び歌が流れるモードもあり、楽しみながら英語の学習ができる本である。				
対象学年	中学部2年(特別学級)	障がい種別	視覚障がい	該当教科	外国語
選定の理由	児童生徒の実態	全盲で知的発達6歳程度の生徒である。視覚情報を得ることができないため、主として聴覚及び触覚による学習を行っている。これらの感覚が敏感であり、音や人が話したことをよく覚えていたり、手先が器用で物を操作することが好きだったりする。点字の導入を進めているが読めるまでには至っておらず、学習に使用する文字は獲得されていない現状である。 本書は日本語と英語で名称を聞くことができるため、本生徒が得意とする聴覚を活用しての外国語の学習に適している。また、ボタンによる操作活動が含まれるため、興味をもちながら学習に取り組めると考える。			
	指導の概略	(1) 動物、果物、野菜などのカテゴリーごとに手触りの違うシールが張られたボタンを押して日本語の名称を聞き、ボタンの配置を覚える。 (2) 英語に切り替えて英語の名称を聞く。 (3) 聞いた英語の名称を真似て発音する。 (4) 英語の名称を聞き、日本語の名称を当てる。 (5) クイズ・ゲームモードに取り組み定着を図る。			

## (記入上の注意)

- 対象学年の( )は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
  - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
  - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

## 一般図書選定の理由書

番号	5
----	---

学校名 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

図書名		ちよろりとおでかけ とけいのえほん		発行者名	成美堂出版	
図書の内容		<p>本書には、手回しで針が動かせる時計の模型が付いている。短針と長針が連動しており、正しい針の動き方を見て覚えることができる。針は色分けされており、短針と長針を混同せずに学習を進められる。文字盤の短針が指し示す部分は12等分されてそれぞれ数字が表示されており、「何時」かがすぐに分かるようになっている。また、長針の先には1から60までの数字が表示されていることから「何分」もすぐに分かる作りになっている。</p> <p>本の内容は、子猫の「ちよろり」の一日の生活がテーマとなっている。話に沿って時計を動かしていく中で、時計の読み方を学ぶことができる。</p>				
対象学年		小学部6年	障がい種別	知的障がい	該当教科	算数
選定の理由	児童生徒の実態	<p>知的発達7歳程度の児童である。言語による指示を理解すること、自分の考えを簡単な言葉で表すことができる。アナログ時計を見て「8時」などの正時を読むことができるが、長針が指し示すのが何分かを理解することがまだ難しい。また、短針が数字と数字の間にあるときに、どちらの数字を読むのかを混同してしまうことも多い。</p> <p>本書を使用することにより、時計の針を操作しながら、短針と長針の動きの決まりや読み方を視覚的に捉えることができ、時計の読み方が理解しやすくなる。時計の仕組みや読み方を覚えることによって日常生活でも時計を見て時刻が分かり、自主的に行動できることが多くなるのではないかと考える。</p>				
	指導の概略	<p>(1) 教師が動かす時計の模型に注目しながら読み聞かせを聞く。</p> <p>(2) 教師と一緒に絵本の話に沿って時計の模型を動かす。</p> <p>(3) 時計の模型で短針と長針の読み方を学習する。</p> <p>(4) 絵本の話に沿って、自分で時計の模型を動かす。</p> <p>(5) 学校や家庭の日程など様々な時刻に時計を合わせる。</p>				

(記入上の注意)

- 1 対象学年の( )は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
  - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
  - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

## 一般図書選定の理由書

番号	6
----	---

学校名 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

図書名	あそびのおうさま BOOK おうさまの たからばこ ふしぎなクレヨン	発行者名	学研教育出版		
図書の内容	本書はイラストが描かれたページに色を塗ったり、線を描き込んだりして、自分だけの絵を完成させることができる。一本の中に様々な色が混ざっているクレヨンが6種付属されている。一本のクレヨンでも角を使ったり、寝かせて使ったりすると模様が変わることから、どんな模様になるか想像したり、予想外の模様になることを楽しんだりしながら学習できる。自由に色を塗ったり、描いたりする活動の中で、自然に色彩感覚や想像力を高めるていくことができる。				
対象学年	小学部1年	障がい種別	知的障がい	該当教科	図画工作
選定の理由	児童生徒の実態	知的発達が2歳程度の児童である。排泄を含め身辺処理が確立していないため、支援が必要な場面が多い。簡単な言語指示が分かり、挨拶や返事をする事ができる。教師の手本や提示された手本を真似ることができる。手指を使った活動に意欲をもって取り組むが、手先は不器用である。 本書を活用することで、カラフルな絵が出来上がる喜びを味わうことができる。また、色を塗る際には下絵にとらわれず、かなり大胆に塗ったり、描いたりしてもきれいな絵が完成するため、手先が不器用な本児でも取り組みやすいと思われる。さらに、活動を行う中で手指への適度な力の加え方を習得するなど、手指機能の向上も見込めるものとする。			
	指導の概略	(1) ページをめくり、どんなイラストが描かれているか教師と話す。 (2) 様々なクレヨンの使い方の例を見て、やってみたい方法を試す。 (3) 好きなページを開き、自由に色を塗ったり、線を描き加えたりする。 (4) 完成した作品を廊下などに掲示し、友だちや教師からの感想を聞き、次への作品作りへの意欲をもつ。			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の( )は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
  - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
  - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

## 一般図書選定の理由書

番号	7
----	---

学校名 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

図書名	あそびのおうさまずかん もののなまえずかん	発行者名	学研教育出版		
図書の内容	<p>本書には300を越える身近な物の名前、動植物の名前、乗り物の名前などが集録されている。その多くが実物の写真と共に紹介されており、言葉と実物を結び付けて学習することに適している。物の名前は「みにつけるもの」「よむもの」「かくどうぐ」「つくるどうぐ」などの項目に分けて紹介されており、用途による分類が視覚的に捉えられるようになっている。</p> <p>その他、スーパーマーケット、動物園、水族館などの造りが図解されているページもあり、総合的な生活図鑑として活用することができる。</p>				
対象学年	小学部2年	障がい種別	知的障がい	該当教科	国語
選定の理由	児童生徒の実態	<p>知的発達が5歳程度の児童である。文字に興味があり、読むことにも意欲的である。平仮名や片仮名で書かれた文や曜日を表す漢字などを読むことができる。経験したことや自分の思いを三語文程度で話すことができる。学校や家庭でよく使う物の名前は理解している。</p> <p>本書は実物の写真とともに物の名前が載っているため、本児は写真を見てから書かれている文字を読むことで、容易に覚えることができ、語彙が増えることが期待できる。また日常生活で使う物については用途ごとに紹介されているので、用途による仲間分けの学習にも活用できる。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 本を見て、家庭や学校にある物、見たことがある動物や植物を探す。</p> <p>(2) その中で知っている物の名前を答える。</p> <p>(3) 教師が指さした物の名前を答える。</p> <p>(4) 「書くときに使う物って何?」「着る物って何?」などのクイズに答える。答えとして出てきたもの以外を本書で確認する。</p> <p>(5) 「書く物」「着る物」などの用途ごとにワークシートにまとめる活動をする。</p>			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の( )は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
  - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
  - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。



## 一般図書選定の理由書

番 号	8
--------	---

学校名 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

図 書 名	ぞうくんのさんぽ		発 行 者 名	福音館書店	
図 書 の 内 容	<p>散歩に出かけたぞうは、途中で出会ったかば、わに、かめを背中に乗せていく。動物たちを散歩に誘う会話は、ほのぼのとしたテンポで進み、その間合いはユーモラスである。繰り返しのフレーズが多く、次の展開を想像しやすく、期待しながら読むことができる。また、のんびりと散歩しているときに、池に落ちてしまう突然の出来事など、その緩急の変化を楽しめる内容となっている。</p> <p>動物たちはやさしい色合いに塗られ、単純にデザイン化した絵で描かれており、親しみやすい絵本である。</p>				
対 象 学 年	小学部1年	障がい種別	知的障がい	該当教科	国語
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>知的発達が2歳程度の知的障がいの児童である。</p> <p>教師や友だちとたくさんかかわり、おんぶや抱っこスキンシップ、毛布ブランコなどでの遊びを好む。また、散歩や遊具遊びなど外での活動も好む。歌や絵本に興味があり、歌に反応して笑顔で声を出したり、絵を指さして、知っている食べ物や動物の名前を言ったりすることができる。</p> <p>身近な出来事である散歩を題材にしているので、同じような場面を経験したり見たりすることがあり、絵本の内容がつかみやすく楽しんで読むことができる。動物の名前を覚えたり、問いかけに反応し、相手とやりとりしながら話したりすることに取り組むことができると思われる。</p>			
	指 導 の 概 略	<p>(1) 絵本を見ながら教師の読み聞かせを聞く。</p> <p>(2) 教師の問いかけに、登場する動物の名前や場面の様子について、教師の問いかけに答える。</p> <p>(3) 登場する動物たちになって、繰り返しのフレーズを言い会話する。</p> <p>(4) 場面に合わせて動物のぬいぐるみを操作し、教師と一緒に音読する。</p> <p>(5) 絵本に出てくる動物の動きを真似したり会話したりして寸劇を楽しむ。</p>			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の( )は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
  - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
  - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

## 一般図書選定の理由書

番号	9
----	---

学校名 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

図書名	手であそぼう まねっこおてんき		発行者名	ほるぷ出版	
図書の内容	<p>晴れ、雨、曇り、雪、台風などの天気、平仮名とかわいらしい絵で描かれている。絵は手話を使って天気を表現しており、手話をしながら読んだり、一緒に真似てみたりすることができる楽しい絵本である。</p> <p>巻末には、本書で取り上げている手話の説明も付いているので、手話を学ぶときの導入に活用できる。また、手を使って楽しみながら読むことで、言葉の数が増えたり、身振りや手振りでの表現が豊かになったりと、コミュニケーションの広がりに関立つと考えられる。</p>				
対象学年	小学部3年(特別学級)	障がい種別	聴覚障がい	該当教科	生活
選定の理由	児童生徒の実態	<p>聴力が左右とも100dBの聴覚障がいと、知的発達が5歳程度の知的障がいのある児童である。補聴器を介しても通常の会話を理解するには難しさがあり、発音も不明瞭なため、コミュニケーションに様々な困難がある。教師からの問いかけには、身振りや手振りで表現したり、写真や絵カードを手がかりにしながら答えたりできる。天気に関心があり、テレビの天気予報を見たり、朝の会でのカレンダーワークでカードを張ったりする活動が好きである。</p> <p>毎日の天気を話題にして繰り返し絵本を見ることで、口形に注目して聞き取ったり、手話や身振り手振りで表現しながら話す基礎的な学習になり、コミュニケーション能力の拡大につながると思われる。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 絵本を見ながら教師の読み聞かせを聞く。</p> <p>(2) 手話を真似しながら教師と一緒に読む。</p> <p>(3) 絵本を見ながら、今日の天気や知っている天気の名前などの天気に関することを話す。</p> <p>(4) 手話の解説を読みながら、手話表現を練習する。</p> <p>(5) 教師と一緒に絵本にある言葉や天気マークを書く。</p>			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の( )は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
  - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
  - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

## 一般図書選定の理由書

番 号	10
--------	----

学校名 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

図 書 名		子どものマナー図鑑① ふだんの生活のマナー	発 行 者 名	偕成社		
図 書 の 内 容		<p>人と話すとき、電話をかけるとき、手紙を書くとき、お手伝いをするとき、買い物するとき、お風呂に入るときなど、日常生活のいろいろな場面でのマナーが取り上げられた図鑑である。ユニークなイラストとともに、基本的なマナーについて説明しているので、楽しみながら読むことができる。</p> <p>「こんなときどうしたらいいかな」「こんなとき周りの人はどう思うかな」など、自分の生活を振り返りながらマナーについて考え、普段の生活の中での基本的なマナーを覚えることができる内容である。</p>				
対 象 学 年		小学部6年(特別学級)	障がい種別	聴覚	該当教科	生活
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>聴力は左右とも95dBで、聴覚障がいと軽度の知的障がいを併せ有する児童である。日常生活動作は、ほぼ自立しており、補聴器を介してある程度のコミュニケーションを取ることができるが、語彙数は少なく発音が不明瞭な部分もある。教師や友達とかかわることを好むが、自分勝手に行動したり乱暴な態度で接したりすることが多い。会話が不十分なことで、コミュニケーション面で友達とトラブルになることもある。</p> <p>具体的な場面に合わせたマナーを学習することで、相手の気持ちを考えたり、自分の行動を見直したりすることができ、適切な人とかかわりやコミュニケーションにも役立つと思われる。</p>				
	指 導 の 概 略	<p>(1) 絵本を自由に見る。</p> <p>(2) クイズ形式で、場面に合う言葉や様子を話したり書いたりして、マナーについて覚える。</p> <p>(3) 自分の生活と場面とを照らし合わせて振り返り、マナーについて考える。</p> <p>(4) 宿泊学習や買い物学習などの事前学習でマナーについて確認する。</p> <p>(5) 学校生活の様々な場面で、教師や友達とやりとりしてマナーを身に付ける。</p>				

(記入上の注意)

- 1 対象学年の( )は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
  - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
  - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

## 一般図書選定の理由書

番号	11
----	----

学校名 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

図書名	寺子屋シリーズ⑦ 親子で楽しむ こどもお仕事塾		発行者名	明治書院	
図書の内容	<p>本書は、6つのタイプに分けた30種類の職業が紹介されている。それぞれの職業についての解説のほか、「なるには」「やりがい」「マメ知識」「こんなキミにピッタリ!」「ある一日」など、その職業をもっと知りたくなる解説が充実している。どのページにもふりがなとイラストが付いているので、分かりやすい内容になっている。</p> <p>将来の仕事や夢について考えながら、興味のある職業に関する記述を読んだり、3種類の「適性診断」から自分に向いている仕事を見つけたりすることができ、仕事への興味や知識を深めることができる図書である。</p>				
対象学年	中学部1年(特別学級)	障がい種別	病弱	該当教科	職業・家庭
選定の理由	児童生徒の実態	<p>軽度の知的障がいがあり、不登校だったことによる学習空白もあって、小学校5年生程度の学習を中心に行っている。教師や友達とかかわることが少なく、会話をすることが苦手である。これまでの職場見学や施設見学などをおし、社会のルールや様々な仕事について学習してきたが、社会経験が不足していたり、自分の生活と結び付けて将来のことを考えたりすることには難しさがある。今後は、福祉や公共施設の利用、仕事をするために必要な知識やサービスなどについての学習が必要である。</p> <p>様々な職業について知ることで、将来の生活を考えたり、自分に合う職業を探したりすることに活用できると考える。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 気になる職業の記述を読んだり、「適性診断」をしたりして、自分の将来の仕事や夢について考え、発表する。</p> <p>(2) 職業名を書き出したり、解説を読んだりして、様々な職業があることを知る。</p> <p>(3) 自分の家族の職業を聞いたり、身近な仕事場を見学したりして、様々な職業について知る。</p> <p>(4) 一つの職業を選び、他の本やインターネットを活用してより詳しく調べる。</p> <p>(5) 調べたことを発表し合い、あらためて自分に合う職業について考える。</p>			

## (記入上の注意)

- 1 対象学年の( )は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
  - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
  - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

## 一般図書選定の理由書

番号	12
----	----

学校名 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

図書名	すてきなひらがな	発行者名	講談社
図書の内容	<p>平仮名50音から、濁音・半濁音、拗音、促音までの文字が、書き順も示しながら、見開きに大きく書かれている絵本である。大きく書かれている文字を使った言葉が、写真やイラストと一緒に紹介されていたり、ローマ字での表記があったり、文字に関連した簡単な英単語なども掲載され、楽しんで読むことができる。</p> <p>書き順を確認しながら平仮名を書いたり、写真やイラストを見ながら物の名前を覚えたり、発音を意識して日本語と英語を読むなど、様々な言葉の学習ができる内容である。</p>		
対象学年	中学部3年	障がい種別	知的障がい 該当教科 国語
選定の理由	児童生徒の実態	<p>知的発達が8歳程度の知的障がいの生徒である。日常生活動作は、ほぼ確立しており、簡単な指示により活動でき、教師や友達とかかわって簡単な会話ができる。文字を読んだり書いたりすることに興味があり、本を読むことにも関心をもつようになってきた。語彙数も少しずつ増えて、身近な物の名称を覚えて教師と一緒に書いたり、音の出る英語の絵本を見たり聞いたりして楽しむことができる。</p> <p>平仮名、片仮名、英語などのいろいろな種類の文字があるので、文字の学習に取り組むことができる。また、写真やイラストを手がかりに連想ゲームをしたり、場面設定して会話を楽しんだり、コミュニケーション能力を高めることにもつながると思われる。</p>	
	指導の概略	<p>(1) 絵本を見ながら教師の読み聞かせを聞く。</p> <p>(2) 教師と一緒に絵本を見ながら平仮名や言葉を読んで覚える。</p> <p>(3) 書き順を確認して平仮名を指でなぞったり、視写したりする。</p> <p>(4) 絵本に出てくる英単語や知っている英語を話す。</p> <p>(5) 濁音・半濁音、拗音、促音が含まれる言葉を話したり書いたりする。</p> <p>(6) 絵本に出てくる言葉を使って文を作る。</p>	

(記入上の注意)

- 対象学年の( )は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
  - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
  - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

## 一般図書選定の理由書

番 号	13
--------	----

学校名 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

図 書 名	小林カツ代の食育のえほん いただきますごちそうさま		発 行 者 名	合同出版	
図 書 の 内 容	本書は食材そのものやその食材からできる食べ物、身に付けておきたい食事のマナー、準備や後片付けの仕方を含めた調理方法など、食に関する全般的な内容が、写真やイラスト付きで掲載されている。写真は大きく色鮮やかで、イラストも優しい色合いでシンプルに描かれているため、見やすくなっている。調理例は簡単で手順も単純なものが紹介されているため、手軽に取り組むことができ、調理の基本を学ぶのに適している。この一冊で「食べ物についての知識」「食事のマナー」「調理の技術」を身に付けることができる。				
対 象 学 年	中学部3年	障がい種別	知的障がい	該当教科	職業・家庭
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	知的発達が8歳程度の知的障がいの生徒である。文章を読み、内容のおおよそを理解することができる。調理はこれまでの学習でも取り組んでおり、本生徒が興味をもっている活動である。以前は教師の手伝いを受けながらの調理活動であったが、現在は簡単なメニューをひとりで調理できるようになることを目標としている。 本書は調理の仕方が分かりやすい文でイラストと共に紹介されているため、本生徒にとって理解しやすいと思われる。また、作り方も簡単であるため、「ひとりで調理できる」という目標の本生徒が取り組みやすい内容である。さらに、本書を使用することによって「いろいろな食材について知る」「食事のマナーを知る」など学習にも取り組むことができ、調理のみならず食に対する知識や技能を幅広く高めていくことができる。			
	指 導 の 概 略	(1) 本書を見て作ってみたいものを探す。 (2) 説明の文を読んだりイラストを見て、必要な材料や手順を確認する。 (3) 買い物リストを作成し、材料の購入をする。 (4) 手順表を見ながら調理活動をする。 (5) 味や手順などについて自己評価する。 (6) 本書を見て次に作ってみたいものを決める。 (7) 適宜、本書で食材や食事マナーについて確認し、食に関する知識やマナーを高める。			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の( )は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
  - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
  - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

## 一般図書選定の理由書

番 号	14	学校名
		担当者名

図書名	10このちいさなおもちゃのあひる	発行者名	偕成社		
図書の内容	<p>本書は、嵐により海に放り出された10個のおもちゃのあひるたちが、様々な海の動物たちに出会うストーリーを描いた、エリック・カール作の絵本である。</p> <p>おもちゃのあひるが、1番目、2番目、3番目と順番に紹介されていくため、10までの数字や順序に注目しながら読み進むことができる。また、10匹のあひるが一斉に登場する場面もあり、数える学習に楽しみながら取り組むことができる。</p> <p>簡潔でリズムカルな文章、色彩豊かなイラスト、最後のページのボタンを押すとあひるの鳴き声をする仕掛けが特徴的で、子どもの興味を引きつけながら学習を進めることができると考える。</p>				
対象学年	小学部3年	障がい種別	知的障がい	該当教科	算数
選 定 の 理 由	児童生徒の実態	<p>知的発達が5歳程度の児童である。絵本を見ることが好きで、休み時間には教室内にある絵本の絵を眺めて楽しんでいる。本の中の文字を読む様子はあまり見られない。</p> <p>学習面では、平仮名の学習に取り組んでおり、教師と一緒に拾い読みで簡単な文を読む学習に取り組んでいる。数字は1から10までを読むことができるが、数量と数字の関係の理解は不十分であり、一対一対応を行いながら、具体物を使って算数の学習を進めている段階である。</p> <p>本書を活用して指導を展開することは、本児の好きな絵本と算数の学習を結びつけて進めることができ、数や文字に興味をもちながら、初歩的な数の概念の形成の指導につなげることができると考えられる。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 絵本を見ながら教師の読み聞かせを聞いたり、音を鳴らしたりして楽しむ。</p> <p>(2) 絵本には、どんな動物が出てきたのかを教師と一緒に考える。</p> <p>(3) 文中の1から10の数字に注目しながら教師と一緒に絵本を読む。</p> <p>(4) 動物が登場する順序に注目しながら、順序数を学習する。</p> <p>(5) 複数のあひるが出てくるページでは、絵を一対一対応で指さしし、登場したあひるの数を数える。また、教師がいくつかのあひるの絵を紙などで隠し、見えているあひるの数を考える。</p>			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の( )は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
  - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
  - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

## 一般図書選定の理由書

番号	15
----	----

学校名 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

図書名	ヒュルヒュルドカーン おまつりたいこ！		発行者名	東京書店	
図書の内容	本書は、全12曲の歌詞・楽譜と、大太鼓、小太鼓、でんでん太鼓の3種類の太鼓を摸したパーツがセットになった絵本である。児童生徒がの親しみやすい「むらまつり」「バスごっこ」などの童謡や、「となりのトトロ」「アララのじゅもん」などのアニメソングが収められている。付属のばちで叩いても手で叩いても音が出るため、ばちを持つことが難しい児童生徒も演奏することができる。太鼓を叩くとLEDの花火が光る仕組みになっており、音だけでなく視覚的な変化を楽しみながら演奏することができる。歌詞には3種類の太鼓のマークが付いており、マークを見ながら曲に合わせて太鼓を叩くことができる。				
対象学年	小学部1年(特別学級)	障がい種別	視覚障がい	該当教科	音楽
選定の理由	児童生徒の実態	知的発達4歳程度の知的障がいと、弱視(視力 左0.01、右0.2)のある児童である。学校では、何事においても積極的に取り組んでおり、身近な物の名前を覚えて使うことが増えてきている。弱視による視覚からの情報不足、生活経験の少なさによる遅れも見られる。音楽を好み、アニメ番組などの主題歌を繰り返し聞くことで歌詞を覚えて口ずさむ様子が見られる。 本書は、本児の好む曲が多く収められており、叩くことに反応する花火の光を楽しんだり、ばちを持ってリズムに合わせて叩いたり、曲に合わせて歌ったりして、楽しく学習できると考える。			
	指導の概略	(1) どこに曲のボタンや太鼓があるか、見たり触れたりして確かめ、音を出してみる。 (2) 3つの太鼓の音色の違いを調べる。 (3) 絵本を見ながら曲を聴いたり、曲に合わせて歌ったりする。 (4) 曲に合わせて手拍子でリズムをとる。 (5) ばちを持ち、曲に合わせて自由に太鼓を叩く。 (6) 花火の光の変化を意識しながら、曲に合わせてばちで大鼓を叩く。 (7) 歌詞の太鼓の印のとおり太鼓を叩く。 (8) 本書に収められていない曲に合わせて、アレンジを考えて太鼓を叩く。			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の( )は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
  - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
  - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。



## 一般図書選定の理由書

番 号	16
--------	----

学校名 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

図 書 名	ワンダーおはなし絵本 ポッキーのわくわくサンドイッチ		発 行 者 名	世界文化社	
図 書 の 内 容	<p>本書は、ぶたの主人公がピクニックに行くために、パン、トマト、チョコレート、卵などの身近な食材でサンドイッチを作る場面からはじまり、次々に現れる動物たちに出来上がったサンドイッチを分けてあげるという内容である。身近な食材やなじみのある動物が登場することから、次はどんな動物が現れるのか、何が入ったサンドイッチをあげるのかという期待感をもって読み進めることができる構成になっている。</p> <p>また、自分のサンドイッチを他の動物に分けてあげたり、分けてもらった動物がお礼にサンドイッチを作ってもらったりする本書は、他者への思いやりの心をはぐくむことができる内容である。</p> <p>絵本の中のイチゴの絵の部分をこするとイチゴのにおいがする仕組みになっており、物語とともににおいも楽しむことができる絵本である。</p>				
対 象 学 年	小学部5年(特別学級)	障 が い 種 別	肢 体 不 自 由	該 当 教 科	国 語
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>肢体不自由と知的障がいを併せ有する二分脊椎の児童で、日常的に車いすを使用している。知的発達には5歳程度であり、片仮名を覚え始めている。絵本の読み聞かせが好きで、繰り返しが多い簡単な物語は、内容を覚えて暗唱することができる。学級で野菜を育てたり、収穫した野菜を調理したりする活動にも意欲的に取り組んでいる。</p> <p>本書は、身近な食材やなじみのある動物が登場すること、イチゴのにおいを楽しむことができることから、興味をもって聞くことができ、繰り返しの多い展開は内容を理解しやすいと考えられる。また、パン、トマト、チョコレートなどの片仮名の言葉が多く、片仮名を覚え始めた本児にとって、興味をもって書字の練習をすることができると思う。</p>			
	指 導 の 概 略	<p>(1) 絵を見ながら教師の読み聞かせを聞く。  (2) 最後のページを指でこすると何のにおいがするかを調べ、発表する。  (3) どんな動物が出てきたか、どんな食材が出てきたかを発表する。  (4) 好きな動物、好きなサンドイッチを発表する。  (5) 好きな動物の名前や食材の名前を片仮名で書く練習をする。  (6) 繰り返しの表現の箇所を覚え、友達同士でかけ合いをする。  (7) 調理学習で作るサンドイッチについて話し合う。</p>			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の( )は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
  - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
  - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

## 一般図書選定の理由書

番 号	17
--------	----

学校名 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

図 書 名	12か月のうたのえほん	発 行 者 名	ハッピーオウル社		
図 書 の 内 容	<p>本書は、誰もが知っている親しみやすい童謡38曲を、「春のうた」「夏のうた」「秋のうた」「冬のうた」と四季に分けて構成しており、季節を感じながら一年をとおして使用できる絵本である。</p> <p>曲のイメージをふくらませることができるよう、やさしい色合いの挿絵がふんだんに使われており、ひな祭りや七夕、クリスマスなどの季節行事の学習にも活用することができる曲が多く盛り込まれている。</p> <p>主旋律の楽譜も掲載されていることから、歌唱のほかに楽器演奏にも活用することができる。</p>				
対 象 学 年	小学部2年	障 がい 種 別	知的障がい	該 当 教 科	音楽
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>知的発達が4歳程度のダウン症の児童である。日常生活動作の多くは教師による援助が必要である。発音はやや不明瞭であるが、言葉によるコミュニケーションが可能である。音楽の学習が好きで、「今月のうた」のコーナーでは、知っている曲であれば積極的に大きな声で歌ったり、指揮をしたりしている。</p> <p>本書に掲載している曲は、本児も知っている曲がほとんどで、自信をもって歌ったり身体表現をしたりすることができると思う。また、楽器演奏はまだ打楽器しか取り組んでいないため、本書に掲載されている簡単なメロディーの童謡であれば鍵盤楽器の演奏にも取り組みやすいと考える。様々な季節行事の学習でも、歌う活動を取り入れることで、興味・関心をもって活動に参加できると考える。</p>			
	指 導 の 概 略	<p>(1) 音楽の学習の「今月のうた」で歌う曲を話し合っ決めて。</p> <p>(2) 「今月のうた」の曲をみんなで歌ったり、一人ずつ歌ったりする。</p> <p>(3) 「今月のうた」の曲の演奏に合わせて身体表現をする。</p> <p>(4) 月の後半では、歌や身体表現の発表をする。</p> <p>(5) 簡単なメロディーの曲に合わせて、キーボードなどの鍵盤楽器の演奏をする。</p> <p>(6) ストーリー性のある曲では、本書の挿絵を活かしたペープサートを見て楽しむ。</p>			

(記入上の注意)

- 対象学年の( )は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
  - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
  - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

## 一般図書選定の理由書

番 号	18
--------	----

学校名 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

図 書 名	きせつの行事りょうり キッズレシピ	発 行 者 名	小学館		
図 書 の 内 容	<p>本書は、季節行事に関する料理について、児童生徒でも調理しやすい簡単な調理方法や食材の知識が季節ごとにまとめられている。</p> <p>食に関わる季節行事として、端午の節句の柏もち、月見の団子、冬至のかぼちやの煮物などが取り上げられ、その行事の由来や、その料理を食べる理由を学べる内容となっている。</p> <p>その他にも、旬の食材に関するクイズ、「和える」「面とり」などの調理をするときに使う言葉の解説も掲載されており、季節を感じながら楽しく学んだり調理したりすることができる図書である。</p>				
対 象 学 年	中学部1年	障がい種別	知的障がい	該当教科	職業・家庭
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>知的発達が8歳程度の知的障がいの生徒で、日常生活動作はほぼ自立している。小学部の生活単元学習などで、季節行事の学習に意欲的に取り組んできた。これまでも簡単な調理活動を経験しているが、細部では教師の補助が必要である。毎日の給食を楽しみにしており、特に行事献立のときは、献立表を何度も確認する姿が見られる。</p> <p>季節感を体感しながら調理活動することをねらっている本書は、旬の食材を使った料理や季節行事に関する料理のレシピが豊富に掲載されている。生徒の実態に合わせて簡単に調理できるメニューも多く、季節に応じて興味をもって取り組むことができると考える。また、食材を購入する学習も取り入れることで、より生活経験を充実させることにつながると考える。</p>			
	指 導 の 概 略	<p>(1) どの時期にどのような季節行事があるかを調べ、過去の給食献立を活用しながら、その行事のときに食べる料理があることを知る。</p> <p>(2) 本書に掲載されたメニューの中から、作る料理を話し合う。</p> <p>(3) 必要な食材や調理手順を確認する。</p> <p>(4) 食材を購入する。</p> <p>(5) 旬の食材が販売されているか調べる。</p> <p>(6) 調理をし、会食する。</p> <p>(7) 次の調理活動に向けて、反省をまとめる。</p>			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の( )は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
  - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
  - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

## 一般図書選定の理由書

番号	19
----	----

学校名 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

図書名	めくってはっけん！ せかいちずえほん		発行者名	学研教育出版	
図書の内容	<p>本書は、世界をヨーロッパ、アジア、オセアニアなど7つの地域に分けて、各地域の特徴的な自然、建物、動物などが分かりやすい絵とともに紹介されている。めくる仕掛けが100以上あり、気になった一つの事柄から知識を広げることができるよう工夫されている。</p> <p>他にも、地域ごとに一番広い国、一番高い山などの比較ができたり、各国の「こんにちは」が書かれていたり、付録で国旗一覧が付いていたり、生徒の興味・関心に合わせて、様々な角度から楽しく学ぶことができる地図絵本である。</p>				
対象学年	中学部1年(特別学級)	障がい種別	病弱	該当教科	社会
選定の理由	児童生徒の実態	<p>本生徒は、重い内臓疾患のため病院に長期入院し、治療を受けながら学校に通学している。食事制限、運動制限等の生活規制が必要な児童である。また、軽度の知的障がい併せ有し、知的発達10歳程度である。体を動かすことや屋外で活動することは好まず、自分の好きな本や図鑑などを見るのが好きである。国旗に興味があり様々な国旗を知っているが、実際その国がどのような国なのかというところには興味が広がっていない。</p> <p>そこで、興味のある国旗を手がかりにしながら、国旗を知っている国が地図上ではどこにあり、どのような特徴がある国なのかを調べ、外国の自然や歴史、世界の出来事などに関心を広げることができると思う。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 付録の世界地図・国旗一覧から、知っている国旗の国がどこにあるかを見つける。</p> <p>(2) 本書の中では、その国についてどのようなこと書かれているかを調べる。</p> <p>(3) その国が、大きくくりでは何という地域に属するかを覚え、その地域の他の国の特徴を調べる。</p> <p>(4) 国旗を知っている別の国についても、(1)～(3)の流れで学習する。</p> <p>(5) 調べた国や地域の中で、興味を持った国・地域についてまとめ、学級で発表し合う。</p> <p>(6) 新聞記事を活用し、記事で紹介された国について調べる。</p> <p>(7) 動物や建物など、カテゴリーごとに各地域の記載されていることについて調べる。</p>			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の( )は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
  - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
  - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

## 一般図書選定の理由書

番 号	20
--------	----

学校名 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

図 書 名		あそびのレシピ		発 行 者 名		福音館書店	
図 書 の 内 容		<p>本書は、小枝や葉、ダンボールなどの身近な材料と簡単な道具を使いながら作品を作ることができるよう、写真や丁寧なイラストとともに用意する物や作り方の手順を紹介している。</p> <p>27の作品作りのレシピのほか、巻末では作り方のヒントや、作品作りで使う道具・材料についても紹介しており、作品作りの過程を楽しむことができるよう構成されている。また、作品作りの前の材料集めとして子ども達を山や川などへ誘うページもあるため、散策などの開放的な活動を取り入れながら、ダイナミックに作る楽しみを感じられるよう工夫された図書である。</p>					
対 象 学 年		小学部6年	障がい種別	知的障がい	該当教科	図画工作	
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>知的障がいを有する知的発達が8歳程度の児童である。絵や写真を見ることが好きで、図鑑などを見て楽しむ場面が見られる。自然に興味をもっており、散歩をすると植物や昆虫などの名前を周囲に伝える様子が見られる。</p> <p>絵を描いたり、立体作品を作ったりする活動には興味・関心をもって取り組んでいる。しかし、作品作りの過程が分からなくなったり、面倒になったりすると活動が停滞することがあるため、視覚的に分かりやすい援助が必要である。</p> <p>本書は、作品作りの過程や完成作品のイメージが写真やイラストで分かりやすく示されているため、見通しをもちながら活動に取り組むことができると考える。また、学習活動に素材集めを盛り込むことで、自然と作品作りを結び付けた学習に発展させることもできると考える。</p>					
	指 導 の 概 略	<p>(1) 教師と一緒に本を見ながら、作ってみたい作品を探す。</p> <p>(2) 散策を通して自然物に目を向け、作品作りに必要な素材を集める。</p> <p>(3) イラストを見ながら準備物を確認したり、そろえたりする。</p> <p>(4) 制作手順のイラストを教師と一緒に確認しながら、作品作りを進める。</p> <p>(5) 本書の完成作品のイメージ写真をもとに作品を飾って写真に納めたり、操作性のある作品では実際に動かして遊んでみたりすることで、活動の達成感を味わう。</p> <p>(6) 作品のうまくできたところや頑張ったところなどを発表し、次の活動への意欲を高める。</p>					

(記入上の注意)

- 1 対象学年の( )は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
  - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
  - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。